

読書のまち三郷だより

No.29
平成24年
7月
三郷市教育委員会

早稲田図書館と北部図書館 7月・8月の開館時間延長

早稲田図書館と北部図書館は7月と8月の平日の開館時間を延長します。閉館午後6時までのところが、午後7時までとなります。なお、小学生の午後6時以降の利用は保護者の同伴が必要です。夏休みなど夕方の涼しい時間の利用がしやすくなりますので、親子でご利用下さい。

- * 早稲田図書館 火・水・木・金 9:30~19:00 月曜休館
 - * 北部図書館 月・火・水・木 9:30~19:00 金曜休館
- (土・日は両館とも 9:30~17:00)

◇「子ども司書」養成講座スタート ◇

6月28日に「子ども司書」養成講座がスタートしました。以前にも図書館で1日子ども図書館員講座が持たれていましたが、今回は、学校と図書館の連携を図り教育委員会主催で講座が持たれます。新しい試みということで、地の利を生かし、今期は早稲田図書館と丹後小学校が連携協力し合うことになりました。丹後小学校の5、6年生13名が「子ども司書」をめざします。講座は全部で10回開催されます。活動の様子は「全国子ども司書大会」(11月30日三郷市文化会館)で報告される予定です。また、取材に訪れたテレビ局や新聞記者に子ども司書養成講座受講の理由をインタビューされると「本のことをもっとよく知りたい」「将来の夢は作家」「読み聞かせを上手にやって、みんなに喜んでもらいたい」などハキハキ答えていました。



〈司書のエプロンを着け、教育長メッセージを持って記念写真・最後までがんばります!〉

うちどく推進で家族の絆を培おう!

60分間、それぞれの本で読書をした後、いっしょに記録カードを書きました。

「マジックツリーハウス1」
きょうりゅうの谷の大ぼうけん

本当は「かがみのうらレストラン」を読もうとしていました。でも、こわくなってきたので、読む本をかえました。「マジックツリーハウス」はすごくおもしろかったです。おほりにおちたということがジッタはこわかったと思いました。(子)

「放課後」 東野圭吾/作

学校の「家族読書の日」の設定のおかげで、月に2回、子どもとともに本をじっくり読むことができ、うれしい習慣です。(母)

〈彦郷小〉

感動をつづってみよう～親子読書感想文講座開催～ ～親子で学び話し合う“うちどく”の一環ですね～

“本を読んで心が動いたら、その思いを素直にかいてみましょう。感動は自分自身のものですが、こんなにすばらしい本があるよ、と誰かに伝えたら、もっとすてきです。”と、早稲田図書館では読書活動支援員を講師に親子読書感想文2回連続講座を開きました。「感想文のことがよく分かりました。」と、お父さん。「感想文を書くために本を読んで前よりもっと本を好きになりました。」と、子どもたち。親子で本を中心に一緒に取り組んでいるのですから、これも広く「うちどく」です。



★ 学校司書が入り活気づく学校図書館 ★



6月1日(金)から、全小中学校27校に学校司書が週2日(1日5時間)配置されました。配置の関係上、4月、5月は学校司書は配置されていなかったため、各学校の児童生徒や先生方は待ちに待っていました。2ヶ月間の空白があったことで、より学校司書の存在の大きさがクローズアップされました。

右の写真は、本がどこの書棚にあるか、本の検索機での探し方を教えてもらっているところのものです。各学校に、市の図書館や他の学校ともつながっている検索機が2台ずつ入っています。



〈彦糸小・昼休み〉

「本の検索はこうやるのよ。覚えるといつでも探せますよ」

「司書の先生がいると本のことをすぐにいろいろ教えてもらえるのでうれしい」

～読書推進～

〈子ども読書活動推進協議会 6/26〉

24年度「第1回読書のまち三郷子ども読書活動推進協議会」が開催されました。

「読書のまち三郷・こども読書活動推進計画」の進捗状況や昨年度とったアンケートの分析が行われ、着実に進む「読書のまち三郷」の推進が確認されました。また、読書に関する会議らしく、会議に先立って行われたメンバーの自己紹介では「私のおすすめの本」の紹介も行われました。



～中学校でも読み聞かせ～

〈栄中でも読み聞かせスタート 6/19〉

市内の中学校では読書ボランティアの読み聞かせを実施している中学校が増えていきます。栄中学校でも生徒に読み聞かせをしたいという熱い思いの方たちが集まって図書ボランティア「おはなしなでしこ」が結成されました。6/19に初の読み聞かせを1年生4クラスで実施。「中学生が聞いてくれるかしら」とメンバーの方がたはドキドキしたそうですが、普段の授業とは違う読み聞かせに、「本の世界に浸っているよ…」というかんじで、中学生は集中してとてもよく聞いていました。



「おはなしなでしこ」のみなさんは、その後、選書や読み方について反省会をひらき、次回に備えていっしょにやりました。

～絵本で子育て～

〈八木郷子育て支援センターで講座開催 6/26〉

1才～3才児を持つお母さん方の学習会が読書活動支援員を中心にありました。

心豊かな子どもたちに育つように、読み聞かせの大切さやどんな本が良いのかなどのお話の後、「読んでいてもすぐペラペラページをめくって困ります。」「すわってなくて動き回って本に興味がないのはどうしたらいいですか。」など、今、どうすればよいか具体的なことについても話し合いがされ、充実したひとときがもたれました。

幼時期に日常的に読み聞かせをされて育つことが、その子の読書生活に大きく影響していきます。「読書のまち三郷」らしく、本の大切さが若いお母さん方にも広がっています。



★ららほっとおはなし会★

6月のお話会は丹後小読書ボランティア「おはなしたんご」でした。パネルの「アイウエオ王」大型絵本の「ぼくにげちゃうよ」に子どもたちの瞳は輝いていました。



次回は、7月21日(土)

吹上小学校「ひだまり」